

スピードスケート全日本学生選手権 川岸が総合3位
12月中にスピードスケートの大会が各地で開催され、専大勢が活躍した。

■全日本選手権(13～15日、八戸市・長根運動公園スケートリンク)男子総合・出島茂幸(商2・釧路商高)=10位

■全日本学生選手権(19～21日、群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク)男子総合・川岸祐貴(経済2・池田高)=3位、荒倫宏(商1・池田高)=6位、井出智英(商1・池田高)=8位、小笠原裕太(商3・八戸商高)=14位

■全日本スプリント選手権(24～26日、北海道立真駒内屋外競技場)沢友和主将(商4・池田高)=19位

今回の結果について川岸は「短距離でポイントを稼いで波に乗れたので良かった。まだ上には上がっているので満足することなくさらに上位を目指していきたい」と力強く語った。(中村 有希・法1)

[1月15日/ニュース専修11面]

スキー部が活躍！ 女子距離15キロ 田村直美が2位

全日本学生チャンピオンスキー大会が12月20日から23日まで、北海道音威子府で行われ、女子距離15キロで田村直美(商3・飯山南高)が2位入賞を果たすなど健闘した。

【女子距離競技5キロ】

田村=5位、駒村裕子(商1・飯山南高)=8位

【コンバインド(ノルディック複合)10キロ】

田村=4位、藤田絵里子(文2・福野高)=6位、梁瀬仁美(経営4・真室川高)=9位

【女子距離15キロ】

田村=2位、藤田=3位、梁瀬=7位、駒村=8位

【男子距離30キロ】

郷博行(経済4・小千谷高)=8位

他にも、全日本学生アルペンチャンピオン大会(1月6日)の女子回転では清澤恵美子(経営1・歌志内高)が、日本エアシステムカップ阿寒スラローム選手権(12月19日)の女子回転で服部七穂(経営1・双葉高)がともに1年次ながら堂々の3位に輝いている。今後もスキー部の活躍からは目が離せないことになりそうだ。(高橋 伸明・文1)

[1月15日/ニュース専修11面]



4年次生の風格を見せた天羽

全日本学生馬術女子選手権 天羽、 健闘の準優勝

全日本学生馬術女子選手権が12月14、15日に兵庫県・三木ホースランドパークで行われ、天羽美穂(経済4・富川高)が準優勝に輝いた。

今大会は与えられた馬で競う貸与馬形式で、選手の実力が問われた。

予選は確実に突破したが、決勝では連戦の疲れからか馬場馬術で大きく離される。得意の障害飛越で追い抜くかと思われたが、一步届かなかった。

「今までこの大会では良い成績を収められなかったのうれしいです」と笑顔で語った。

(文・写真 山室 綱寛・文2)
〔1月15日/ニュース専修11面〕



緊迫した雰囲気での決勝戦。こちら向きが田中

田中章仁が連覇 天皇杯全日本レスリング120kg
天皇杯全日本レスリング大会が12月20日から23日まで代々木第2体育館で行われ、120kg級で田中章仁（経済2・三井高）が優勝、連覇を成し遂げた。

予選を順調に勝ち進み、迎えた決勝戦の相手は諏訪間幸平選手（クリナップ所属）。一度はリードを許すが、自分のリズムを取り戻し、見事勝利を収めた。

これからの目標を聞くと「昨年はアジア大会などの世界大会に出場し良い経験が出来た。今年も国内だけでなく世界でも今まで以上の成績を収められるように頑張りたい」と語った。

（高橋奈津子・文2 / 写真・尾高弘道氏=平6経営）
〔1月15日/ニュース専修11面〕



オーエスジー戦でシュートする青木康平(写真・山室)

惜しくも2回戦敗退 全日本総合バスケット選手権 男子

第78回全日本総合バスケットボール選手権が1月2日から13日まで代々木第2体育館他で行われ、専大男子は2回戦で敗退した。

学生王者として臨んだ専大は1回戦、四国電力を85-72で下したが、2回戦はJBL所属のオーエスジーに62-80で敗れた。しかし、新関光一監督は「今大会に向けての意識は高いとは言えなかったが、最後まで集中出来た」と満足そうに語った。

2003年もラン&ガンの専大バスケの活躍が楽しみだ。

(井上 寸子・文1)

男子関東オールスター 専大勢が貢献 佐藤 ダンクで連続優勝

男子バスケットボールの第5回関東実業団・関東学生オールスター対抗戦が12月14日、浦安市運動公園総合体育館で行われ、専大勢の活躍で81-79で関東学生オールスターが勝利を収めた。

また、ダンクシュートコンテストでは佐藤浩貴(経営3・相洋高)が2年連続優勝を果たした。

学生オールスター東西対抗 女子 長南が敢闘賞 男子 波多野が出場

バスケットボールの第30回全日本学生オールスター東西対抗戦が12月8日、神戸市王子スポーツセンターで行われ、男子は62-77で西軍が勝ち、女子は75-75で引き分けた。

男子は波多野和也(経営2・静岡学園高)が、女子は加藤五月(経営4・市立沼津高)、白澤幸佳(商3・明星学園高)、川村良子(文2・東京成徳大高)、長南真由美(経営2・山形市立商高)の4人が東軍のメンバーとして出場、長南が個人賞で敢闘賞を受賞した。(染谷 智子・文1)

[1月15日/ニュース専修11面]

[【ニュース専修ウェブ版トップに戻る】](#)